

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
平成25年度「日韓スカウト交歓計画(韓国スカウト招聘)事業」
事業実施基本構想(案)

平成25年10月7日現在

1. 事業名称

平成25年度「日韓スカウト交歓計画(韓国スカウト招聘)事業」

2. 事業実施の経緯

平成10年10月の金大中韓国大統領訪日の際、金大統領と小渕恵三総理大臣により署名された「共同宣言」及び附属の「行動計画」に基づき、日韓両国の明日を担う中・高校生の交流促進事業が外務省により平成11年度より10年間にわたって実施されることになった。

小渕総理の提唱によるこの青少年交流事業は、21世紀の日韓を担っていく日韓両国の中学生、高校生どうしの交流を促進し、若い世代の相互理解を深め、将来の日韓間の国民的な友好協力関係の基礎を強化することを目的としており、日本政府の経費負担により「10年間で日韓の中高生1万人の交流を行う」とするもので10年間、毎年1000人の交流を促すものである。外務省ではこのうち300人の交流について本連盟に展開を依頼することとし、残る700人については韓國中・高校生の日本への修学旅行に対する支援とすることになった。

本連盟はこの依頼を受けて、10年間毎年150人の韓國中・高校生スカウトと事業実施に必要な数の指導者を招聘し、日本側150人の青少年との交流を図るプログラムを展開することになった。

この交流事業は外務省所管の(財)日韓文化交流基金が外務省より委託を受けている「日韓学術文化青少年交流事業」の一環として、「日韓ボーイスカウト・ガールスカウト交流事業」として日韓中高校生交流事業の一つに位置づけられ実施されることになった。このことを受け、日韓文化交流基金は財団法人ボーイスカウト日本連盟を実施団体として事業実施委託を行い、同基金から本連盟に経費が支出されることになった。

平成19年1月にフィリピン・セブ島で開催された第2回東アジアサミットにおいて、安倍晋三総理大臣から提唱された「東アジア青少年大交流構想」により、新たに東アジア諸国内の青少年を対象とした「21世紀東アジア青少年大交流計画(JENESYS Programme: Japan - East Asia Network of Exchange for Students and Youths)」が実施されることとなった。この青少年交流事業は、東アジア諸国間の地域共有の将来ビジョン作りと「アジアの強固な連帯」にしっかりとした土台を与え、青少年交流を通じた相互理解の促進を図ることによりアジアでの良好な対日感情の形成を促進する目的から、東アジア首脳会議参加国(ASEAN、中国、韓国、インド、豪州、ニュージーランド)を中心に、その後5年間、毎年6,000人程度の青少年を日本に招くというものである。

これを受け、過去8年間続けられてきた当交流事業は、「21世紀東アジア青少年大交流計画」の一環として新たに位置づけられ、外務省所管の(財)日韓文化交流基金が外務省より委託を受け実施される「東アジア青少年交流事業」として、日韓中高校生交流事業(日韓ボーイスカウト・ガールスカウト交流事業)として実施されることになった。これにより過去8年間同様、日韓文化交流基金は財団法人ボーイスカウト日本連盟を実施団体として事業実施委託を行い、同基金から本連盟に経費が支出されることになった。

平成23年度に実施から5年を迎えた「21世紀東アジア青少年大交流計画」は終了することとなったが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災後の日本に対する諸外国の理解を深めるため、平成24年度からアジア太平洋地域および北米地域との青少年交流事業「キズナ強化プロジェクト」が新たに実施されることとなり、このプロジェクトの一環として、日韓スカウト交流事業を実施することとなった。

平成25年度は、残念ながら委託金が打ち切られることとなったが、14年間行ってきた長年の本事業を最終回として実施するため、ボーイスカウト日本連盟の自己財源によって実施することとなった。

平成11年度の事業については、男子スカウトのみでなく女子を含む招聘事業として欲しいとの韓国政府の要望を受け入れ、韓国の男子中・高校生ボーイスカウト120人、女子中・高校生ガールスカウト30人の150人と24人の指導者を招聘し約2週間我が国に招き日本スカウトとの交流事業を実施した。実施にあたっては、ボーイスカウト日本連盟が幹事団体となり、ガールスカウト日本連盟にガールスカウト30人と指導者4人の受け入れを依頼した。当連盟は、4こ隊のプログラムとして、第8回日本アグーナリー（全国障害スカウト大会）、大阪・福島各連盟創立50周年県野営大会への参加、国際フォーラム、交流プログラム、ホームステイを実施して大きな成果をあげた。

第2年次にあたる平成12年度は、本連盟でボーイスカウト韓国連盟所属の男女中・高校生スカウト100人及び指導者16人を受け入れ、ガールスカウト日本連盟に中・高校生ガールスカウト50人と指導者5人の受け入れを依頼した。当連盟で受け入れる韓国スカウトについては3こ隊にわけ、第5回日本ベンチャー（主会場大分県）、新潟連盟主催日本海大会、兵庫県大会へそれぞれ参加するとともに、国際スカウトフォーラム、ホームステイプログラム、学習プログラムを実施して大きな成果をあげた。

第3年次にあたる平成13年度は、平成12年度同様、本連盟でボーイスカウト韓国連盟所属の男女中・高校生スカウト100人及び指導者16人を受け入れ、ガールスカウト日本連盟に中・高校生ガールスカウト50人と指導者5人の受け入れを依頼した。当連盟で受け入れる韓国スカウトについては3こ隊にわけ、千葉県大会、長野県大会、岐阜県大会へそれぞれ参加し、広島市青少年野外活動センターで日韓スカウトフォーラムを開催するとともに、ホームステイプログラム、学習プログラムを実施して大きな成果をあげた。

第4年次にあたる平成14年度は、平成13年度同様、当連盟でボーイスカウト韓国連盟所属の男女中・高校生スカウト100人及び指導者16人を受け入れ、ガールスカウト日本連盟に中・高校生ガールスカウト50人と指導者5人の受け入れを依頼した。本連盟で受け入れる韓国スカウトについては3こ隊にわけ、大阪市舞洲スポーツアイランドで開催した第13回日本（第23回アジア太平洋）ジャンボリーへそれぞれ参加し、神奈川県伊勢原市で日韓スカウトフォーラムを開催するとともに、ホームステイプログラム、学習プログラムに参加する機会を提供した。

第5年次にあたる平成15年度は、新型肺炎（SARS）の感染拡大状況を考慮し、実施時期を夏季から冬季に延期し実施した。事業内容は、当連盟でボーイスカウト韓国連盟所属の男女中・高校生スカウト100人及び指導者15人を受け入れ、日韓スカウトフォーラムへの参加、長野県内でのウィンタースポーツ体験プログラム、京都・奈良での日本文化紹介プログラム、関西ブロックでのホームステイプログラム等を行った。

第6年次にあたる平成16年度は、韓国スカウト連盟からの依頼に基づき、平成15年度同様冬季に実施した。事業内容は、当連盟でボーイスカウト韓国連盟所属の男女中・高校生スカウト100人及び指導者16人を受け入れ、日韓スカウトフォーラムへの参加、長野県内でのウィンタースポーツ体験プログラム、京都・奈良での日本文化紹介プログラム、関西ブロックでのホームステイプログラム等を行った。

第7年次にあたる平成17年度は、韓国スカウト連盟から男女中高生スカウト66人及び指導者11人を受け入れ、千葉県大会・石川県大会への参加、大会後のホームステイ、日韓スカウトフォーラムへの参加機会を提供できるよう手配を行った。

第8年次にあたる平成18年度は、平成17年度同様、韓国スカウト連盟から男女中高生スカウト66人及び指導者11人を受け入れ、石川県珠洲市で開催する第14回日本ジャンボリーへの参加、日韓スカウトフォーラムへの参加機会を提供できるよう手配を行った。

第9年次にあたる平成19年度は、韓国スカウト連盟所属の男女中・高校生スカウト132人及び指導者21人を受け入れ、平成16年度同様冬季に実施した。事業内容は、日韓スカウトフォーラムへの参加、長野県内でのウィンタースポーツ体験プログラム、京都・奈良での日本文化紹介プログラム、関西ブロックでのホームステイプログラム等を行った。

第10年次にあたる平成20年度は、韓国スカウト連盟所属の男女中・高校生スカウト132人及び指導者21人を受け入れ、日韓スカウトフォーラム、長野県内でのウィンタースポーツ体験、東京周辺での日本文化紹介、関東ブロックでのホームステイ等を含めたプログラムを冬季に実施した。

第11年次にあたる平成21年度は、韓国スカウト連盟所属の男女中・高校生スカウト132人及び指導者21人を受け入れ、日韓スカウトフォーラム、長野県内での自然体験活動、東京周辺での日本文化紹介、関東ブロックでのホームステイ等を含めたプログラムを冬季に実施した。

第12年次にあたる平成22年度は、韓国スカウト連盟所属の男女中・高校生スカウト132人及び指導者21人を受け入れ、日韓スカウトフォーラムへの参加、長野県内での自然体験活動

プログラム、京都・奈良での日本文化紹介プログラム、関西ブロックでのホームステイプログラム等を行った。

第13年次にあたる平成23年度は、韓国スカウト連盟所属の男女中・高校生スカウト130人及び指導者21人を受け入れ、千葉県成田市での交流プログラム、長野県内でのウィンタースポーツ、各地での日本文化見学、愛知連盟のスカウト家庭でのホームステイ、名古屋市内の学校見学を実施した。

第14年次にあたる平成24年度は、韓国スカウト連盟所属の男女中・高校生スカウト90人及び指導者10人を受け入れ、広島県での交流プログラム、東北地方の被災県を中心とした訪問プログラム、各地での日本文化見学、神奈川連盟のスカウト家庭でのホームステイを実施した。

第15年次にあたる平成25年度は、韓国スカウト連盟所属の男女高校生スカウト35人及び指導者5人を受け入れ、福岡県での交流プログラム、2015年に山口県山口市阿知須きらら浜で開催される第23回世界スカウトジャンボリー(23WSJ)会場の視察、広島での平和学習、九州でホームステイプログラム等を実施する予定である。

3. 平成25年度韓国スカウト招聘事業

テーマ : Better Understanding, Brighter World 「よりよき理解、明るい世界」

主要プログラム : 高校生年代のスカウトによる日韓スカウトフォーラム、23WSJ会場の視察、平和学習、日本の歴史・文化・経済等に関する研修、スカウト家庭でのホームステイ

招聘期間 : 平成26年1月10日(金)～1月20日(月) 11日間

招聘人員 : スカウト35人、指導者5人 合計40人

参加資格 : 韓国連盟の高校生年代ベンチャースカウトおよび引率指導者

招聘日程 : <日程案>

平成26年1月10日(金)	派遣団4こ隊が福岡空港に到着、開会式
1月11日(土)	日韓スカウトフォーラム
1月12日(日)	日韓スカウトフォーラム
1月13日(月)	日韓スカウトフォーラム／終了後、山口へ移動
1月14日(火)	山口の23WSJ会場を視察、史跡・産業見学
1月15日(水)	広島で平和学習
1月16日(木)	広島にて日本文化・日本の先端技術を見学
1月17日(金)	九州各県へ移動し、ホームステイ
1月18日(土)	ホームステイプログラム
1月19日(日)	ホームステイ終了後、福岡に集合し閉会式・歓送夕食会
1月20日(月)	福岡空港より帰国

日本スカウト・指導者の参加 : 日韓スカウトフォーラムは、韓国連盟と同数程度のスカウトの参加を呼びかける。

実施経費 : 招聘参加者の渡航費・日本国内滞在費および、日本スカウトのフォーラムプログラム参加に要する宿泊・食事費は日本連盟自己財源により実施する。

以 上

平成25年度日韓スカウト交歓計画（韓国スカウト招聘）日程（案）

韓国参加者：40人（1こ隊招聘 指導者5人スカウト35人）

日本スカウトフォーラム参加者：47人想定

2013. 10. 07. 現在

	月 日(曜)	場所	時刻	交通	内容	宿泊
1	1月10日(金)	福岡空港(着) 福岡市内		航空機 貸切バス	福岡空港到着後、貸切バスで福岡のホテルに移動する。 事業のオリエンテーション、日本についての概要を知り、日本のスカウトと交流プログラムの準備、事業全体での開会式、歓迎夕食会を行う。	福岡市内のホテル
2	1月11日(土)	福岡市内			福岡市内のホテルに各都道府県のスカウトが集合し、韓国のスカウトとの交流の準備オリエンテーションを行う。オリエンテーション後、日韓両国のスカウトで日韓スカウトフォーラムの開会を行う。	福岡市内のホテル
3	1月12日(日)	福岡市内			終日、日本のスカウトと日韓スカウトフォーラムを行う。	福岡市内のホテル
4	1月13日(月)	福岡市内 山口県山口市	午前	貸切バス	日韓スカウトフォーラムを締めくくり、日本のスカウトは解散、韓国の参加者は23WSJが開催される山口県山口市へ向けて貸切バスにて出発する。	山口のホテル
5	1月14日(火)	山口県内	午前 午後	貸切バス	貸切バスにて山口県山口市阿知須きさら浜へ移動し、23WSJの開催地の視察の視察を行う。 きさら浜の視察後、山口県内の史跡・産業を見学する。	山口のホテル
6	1月15日(水)	山口県 広島県		貸切バス	広島に移動し、平和記念公園の見学を行い、広島での平和への取り組みを学ぶ。	広島のホテル
7	1月16日(木)	広島県		貸切バス	世界遺産に登録されている宮島を訪れ、日本の歴史と建造物と自然が融合された景観を見学する。 引き続き広島県の産業を見学する	広島のホテル
8	1月17日(金)	広島県 九州		貸切バス	広島から九州地方に戻り、九州ブロックの都道府県連盟で調整されたホスト家庭の集合場所へ移動し、2泊3日間、ホームステイを行う。ホームステイでは日本の生活様式の体験をしながら、日本の家庭との交流を行う。	九州にて ホームステイ
9	1月18日(土)	九州各県			ホームステイプログラム	九州にて ホームステイ
10	1月19日(日)	九州各県	午前 午後		ホームステイプログラム終了 各ホームステイ先から博多市内のホテルに集合し、事業の振り返りを行う。 最終回となる日韓スカウト交歓計画閉会式を行い、今後の事業への期待を残す。 お世話になった県連盟の関係者と歓送夕食会を行う。	博多のホテル
11	1月20日(月)	ホテル 福岡空港		貸切バス 航空機	貸切バスにて福岡空港へ 空路帰国の途へ	